

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公表番号】特表 2018-519016 (P2018-519016A)

【公表日】平成 30 年 7 月 19 日 (2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報 2018-027

【出願番号】特願 2017-559659 (P2017-559659)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/31 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/12 (2006.01)

A 6 1 B 1/012 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/31

A 6 1 B 1/00 6 5 0

A 6 1 B 1/12 5 2 0

A 6 1 B 1/012 5 1 1

A 6 1 B 1/00 7 1 5

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 21 日 (2019.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結腸鏡のプローブ部と併用する結腸洗浄システムの先端アダプタであって、シェルと、前記シェルに挿入される部分を有するインサートと、を備え、

前記シェルは、前記インサートを適合的に収容するようにサイズ設定された空洞領域と、前記プローブ部の遠位端を適合的に収容するようにサイズ設定された少なくとも 1 つの開口部と、を有し、

前記空洞領域は、前記プローブ部が体腔に挿入された場合に体腔と流体連通を維持するように位置決めされ、

前記インサートの前記シェルに挿入される前記部分は、1 つまたは複数の流体輸送管の遠位端をそれぞれ適合的に収容する複数のソケットを備え、

前記インサートが第 1 の要素を備え、前記シェルが異なる第 2 の要素を備え、前記第 1 の要素および前記第 2 の要素の一方が弾性であり、前記第 1 の要素および前記第 2 の要素の他方が相対的に剛性である、先端アダプタ。

【請求項 2】

前記シェルが、前記インサートよりも柔軟な材料で構成され、前記シェルが、外力にตอบสนองして前記インサートの周りで変形可能である一方、前記インサートが、定位置に留まって実質的に無変形である、請求項 1 に記載の先端アダプタ。

【請求項 3】

前記シェルが、少なくとも 1 つの弾性的に潰れ可能な空洞を画定する、請求項 2 に記載の先端アダプタ。

【請求項 4】

前記潰れ可能な空洞が、前記ソケットのうちの少なくとも 1 つの長手軸に沿って、前記

ソケットの開口部を横切って延びるとともに開口部から離隔された保護壁を備える、請求項 3 に記載の先端アダプタ。

【請求項 5】

前記保護壁が、前記潰れ可能な空洞の開口部を備える、請求項 4 に記載の先端アダプタ。

【請求項 6】

前記ソケットの少なくとも 1 つの前記開口部が、吸引開口部である、請求項 4 に記載の先端アダプタ。

【請求項 7】

前記潰れ可能な空洞の前記開口部が、前記吸引開口部と実質的に同じサイズおよび形状を有する、請求項 6 に記載の先端アダプタ。

【請求項 8】

前記保護壁が、前記ソケットの長手軸に沿って、前記開口部から少なくとも 5 mm だけ離隔される、請求項 4 に記載の先端アダプタ。

【請求項 9】

前記潰れ可能な空洞が、内部から結腸壁の一部に押し付けられた際に弾性的に潰れるように十分柔軟であり、前記潰れが、10 ニュートンの力よりも小さな力で発生する、請求項 3 に記載の先端アダプタ。

【請求項 10】

前記シェルが、前記ソケットのうちの少なくとも 1 つの開口部を囲む開口部を備える、請求項 2 に記載の先端アダプタ。

【請求項 11】

前記ソケットの前記開口部が、灌注開口部である、請求項 10 に記載の先端アダプタ。

【請求項 12】

前記灌注開口部が、内部への流体の供給に際して流体を噴射に変えるように成形され、前記シェルの前記開口部が、前記噴射との干渉を回避するのに十分な大きさである、請求項 11 に記載の先端アダプタ。

【請求項 13】

前記シェルが、前記インサートよりも堅固な材料で構成され、前記インサートが、前記ソケット間で変形可能である、請求項 1 に記載の先端アダプタ。

【請求項 14】

前記インサートが、前記流体輸送管の移動に際して、前記流体輸送管および前記空洞領域との適合接触を維持しつつ変形するように十分柔軟である、請求項 13 に記載の先端アダプタ。

【請求項 15】

結腸の遠位部への挿入用にサイズ設定された排出チャンネルの遠位端に取り付けられる、請求項 1 に記載の先端アダプタ。

【請求項 16】

挿入されたとき、結腸の前記遠位部から前記排出チャンネルに排泄物を吸引するように位置決めされるように取り付けられる、請求項 15 に記載の先端アダプタ。

【請求項 17】

前記シェルと一体的に形成され、当該先端アダプタの外周に取り付けられ、そこから半径方向に延びた結腸スペーサを備え、

前記結腸スペーサが、結腸の半径方向制限領域への当該先端アダプタの前進運動に起因する圧力を受けた際に潰れるように十分柔軟である、請求項 2 に記載の先端アダプタ。

【請求項 18】

前記シェルは、前記結腸鏡のプロープ部および前記インサートが前記シェル内に共に位置するように、前記結腸鏡のプロープ部および前記インサートを囲む、請求項 1 に記載の先端アダプタ。

【請求項 19】

前記複数のソケットは、無変形の前記インサートの部分によって寸法安定性を有する、請求項 1 に記載の先端アダプタ。

【請求項 20】

前記シェルおよび前記インサートの双方を含んで、前記結腸鏡のプロープ部に取り外し可能に取り付けられる、請求項 1 に記載の先端アダプタ。

【請求項 21】

結腸洗浄装置の遠位端で先端アダプタを案内する方法であって、
前記先端アダプタを前進させて軟部組織の一部に押し付けるステップと、
前記軟部組織に対して前記先端アダプタの一部を潰すことにより、前記軟部組織に対する前記先端アダプタの最大圧力を低減するステップと、
を含む、方法。

【請求項 22】

前記先端アダプタが、前記結腸洗浄装置の対応する複数のルーメンに取り付けられた複数のソケットを備え、前記先端アダプタの前記部分が潰れる間、前記ソケットが無変形のままである、請求項 21 に記載の方法。

专利名称(译)	远端前端将内窥镜与抽吸装置共同定位		
公开(公告)号	JP2018519016A5	公开(公告)日	2019-06-27
申请号	JP2017559659	申请日	2016-05-25
[标]申请(专利权)人(译)	模托斯GI医疗技术有限公司		
申请(专利权)人(译)	Motasu Jiai医疗科技有限公司		
当前申请(专利权)人(译)	Motasu Jiai医疗科技有限公司		
[标]发明人	ハシドフ ノーム シュトゥル ボリス コチャヴィ イアル アルノン ツザク ルレコ コビ ブレッチャー ダン		
发明人	ハシドフ ノーム シュトゥル ボリス コチャヴィ イアル アルノン ツザク ルレコ コビ ブレッチャー ダン		
IPC分类号	A61B1/31 A61B1/00 A61B1/12 A61B1/012		
CPC分类号	A61B1/015 A61B1/00089 A61B1/00094 A61B1/00101 A61B1/00128 A61B1/31		
FI分类号	A61B1/31 A61B1/00.650 A61B1/12.520 A61B1/012.511 A61B1/00.715		
F-TERM分类号	4C161/AA04 4C161/FF35 4C161/FF42 4C161/GG11 4C161/HH04 4C161/HH05 4C161/JJ01 4C161/JJ11		
优先权	14/722400 2015-05-27 US		
其他公开文献	JP2018519016A		

摘要(译)

提出了一种用于将内窥镜与用于清洁诸如结肠的体腔的系统结合的设备。实施例包括相对于内窥镜的抽吸部件的远端部分的可变布置，多个抽吸管和/或端口，以及保护结肠壁免受抽吸损害的装置。[选择图]图18B